

ロボット・テクノロジー 関連株ファンド ーロボテックー

運用報告書（全体版） 第11期

（決算日 2021年3月15日）

（作成対象期間 2020年9月15日～2021年3月15日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を含む世界のロボット関連企業の株式に投資し、値上がり益を追求することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	約9年9カ月間（2015年12月7日～2025年9月12日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ．アクサIM・グローバル・ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）の受益証券 ロ．ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネースtock・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCI AC World指数 (配当込み、円換算)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
7 期末(2019年3月13日)	円 12,294	円 0	% △ 3.7	12,107	% △ 1.4	% 0.0	% 99.6	百万円 345,939
8 期末(2019年9月13日)	12,812	0	4.2	12,519	3.4	—	99.6	294,492
9 期末(2020年3月13日)	10,399	0	△18.8	9,997	△20.1	—	98.5	171,257
10期末(2020年9月14日)	15,630	800	58.0	13,499	35.0	—	98.7	210,985
11期末(2021年3月15日)	17,516	1,900	24.2	16,664	23.4	—	99.5	218,511

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCI AC World 指数 (配当込み、円換算) は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCI AC World指数 (配当込み、米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC World指数 (配当込み、米ドルベース) は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

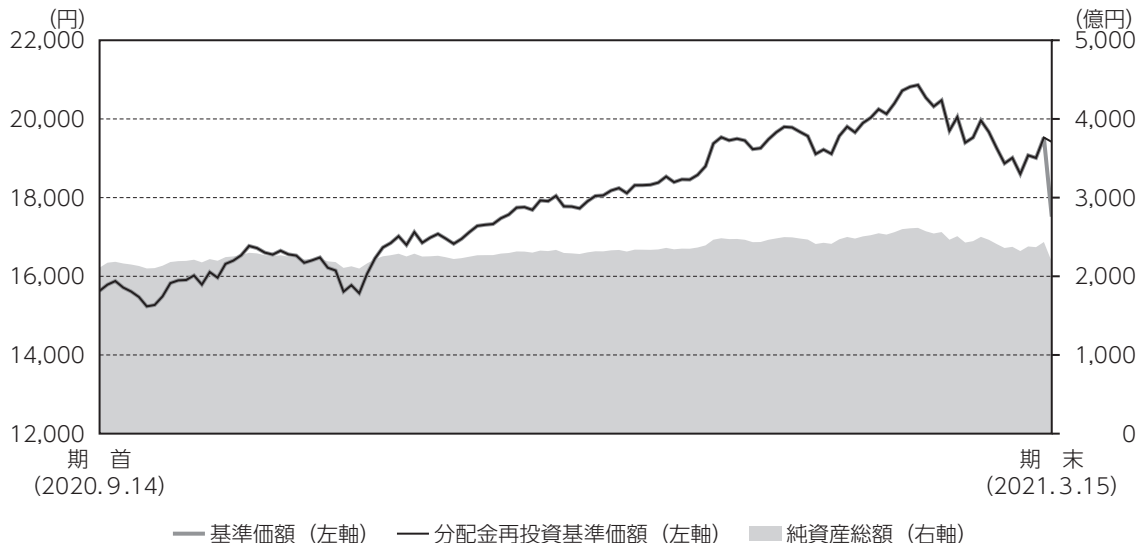
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：15,630円

期末：17,516円（分配金1,900円）

騰落率：24.2%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は、保有銘柄の株価上昇がプラス要因となり、上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC World指数 (配当込み、円換算) (参考指数)		公 社 債 組 入 比	投 資 信 託 受 組 証 比	資 益 入 託 組 入 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率			
(期首) 2020年 9月14日	円 15,630	% -	13,499	% -	% -	% 98.7	
9月末	15,896	1.7	13,391	△ 0.8	-	98.9	
10月末	15,774	0.9	13,127	△ 2.8	-	99.5	
11月末	17,475	11.8	14,610	8.2	-	99.2	
12月末	18,393	17.7	15,025	11.3	-	99.3	
2021年 1月末	19,220	23.0	15,451	14.5	-	99.1	
2月末	19,397	24.1	16,037	18.8	-	98.9	
(期末) 2021年 3月15日	19,416	24.2	16,664	23.4	-	99.5	

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

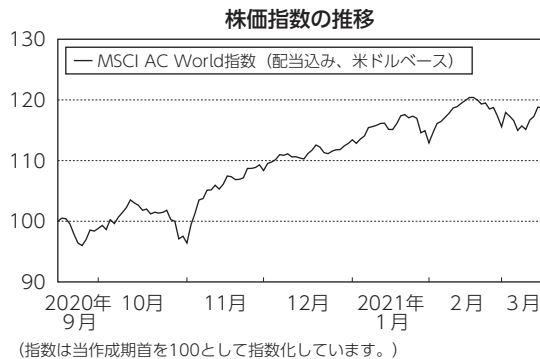
投資環境について

(2020.9.15~2021.3.15)

■グローバル株式市況

グローバル株式市場は上昇しました（現地通貨ベース）。

グローバル株式市場は、当作成期首より、新型コロナウイルスの感染状況などに一喜一憂を繰り返す相場となり、横ばい圏で推移しました。2020年10月には欧州において感染拡大が再び目立ち始め、10月下旬になると複数の欧州主要国において行動制限措置の再施行および制限の強化が行われたことが嫌気され、株価は下落しました。11月以降は、米国大統領選挙において民主党のバイデン氏が事前予想通りの当選確実となって選挙に対する不確実性が後退したことや、欧米において複数の新型コロナウイルスのワクチンが承認されて接種が始まったこと、さらに2021年1月には、米国ジョージア州における上院決選投票で民主党候補が勝利し、大統領府および連邦議会上下両院共に民主党が制したことで大型経済対策などの成立が現実味を帯び、米国の経済回復への期待が高まったことが好感されて株価は上昇しました。2月後半から当作成期末までは、これまでの上昇による高値警戒感や米国で中長期金利が上昇したことなどが懸念され、株価は上値の重い展開となりました。



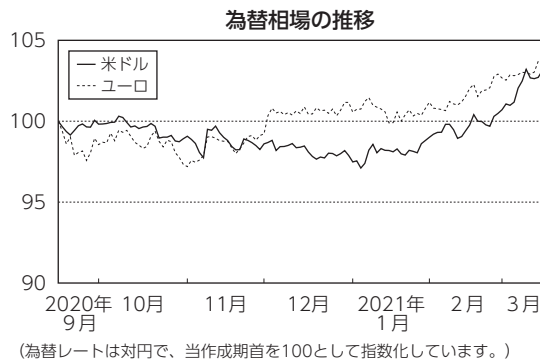
■為替相場（米ドル／円、ユーロ／円）

米ドル円相場は上昇（円安）しました。

米ドル円相場は、当作成期首から2021年1月初めにかけては、米国の緩和的な金融政策の長期化見通しなどから下落基調となりました。その後は、米国での経済対策への期待を受けて米国の中長期金利が上昇したことなどから、当作成期末にかけて大幅に上昇しました。

ユーロ円相場は上昇しました。

ユーロ円相場は、当作成期首から2020年10月末にかけては、欧州での新型コロナウイルスの感染再拡大の懸念などから下落基調で推移しました。その後は、新型コロナウイルスワクチンの普及に対する期待感が高まったことや、ユーロ圏の中長期金利が上昇して日本との金利差が拡大したことなどから、当作成期末にかけて上昇基調となりました。



前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）：アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

■ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、市場のさまざまなロボット関連産業の企業に投資を行います。「作る」では、ロボット産業におけるリーディングカンパニーに加え、製造工程を監視制御するシステムを開発する企業などに注目しています。「運ぶ」では、ビジョンシステムなど自動運転の実現を可能とするソフトウェアや半導体企業に注目しています。「助ける・守る」では、ロボット外科手術やデジタルヘルスなどを手掛ける企業などに注目しています。今回のコロナショックは経済活動や人々の生活に大きな変化をもたらしましたが、世界が直面している課題を解決するためにロボット・テクノロジーが大きく貢献することが期待されています。オンラインへの対応、物流の自動化、生産拠点の見直しなど、さまざまな分野でロボットの導入や自動化が加速していくことが想定されます。今後も、成長期待の高いロボット関連産業の企業に投資を行うことで中長期的な信託財産の成長をめざしてまいります。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2020.9.15~2021.3.15)

■当ファンド

当ファンドは、ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）とダイワ・マネースtock・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期は、ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）を高位に組み入れました。

■ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは、「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、市場のさまざまなロボット関連産業の企業に投資を行い、信託財産の成長をめざしました。企業規模の面ではアマゾン・ドット・コムやキーエンスのような大型株からシリコン・ラボラトリーズやマレルなどの中小型株にも幅広く投資しました。地域別ではロボット関連産業の技術革新において先進的な地域である米国、日本を中心に投資しました。

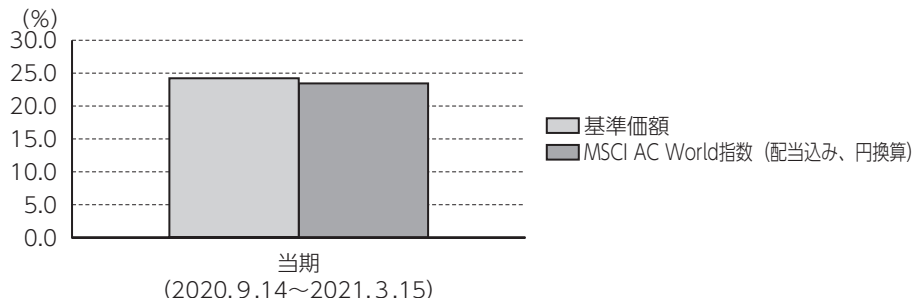
当作成期は、産業向けプロセス・オートメーション・ソフトウェアを開発する英国のアヴィバ・グループを新規で組み入れました。また、新型コロナウイルスの感染拡大によってデジタル化や非接触化などのニーズが高まり、ロボット技術の導入や自動化が今後加速していくという見通しから、日本のロボットメーカーのファナックや安川電機の組み入れを増やしました。一方、パフォーマンスが堅調だった米国のアマゾン・ドット・コムやアップルを一部売却して利益を確定しました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金(税込み)は下記「分配原資の内訳(1万口当り)」の「当期分配金(税込み)」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■ 分配原資の内訳 (1万口当り)

項目	当期	
	2020年9月15日 ~2021年3月15日	
当期分配金 (税込み) (円)	1,900	
対基準価額比率 (%)	9.79	
当期の収益 (円)	1,900	
当期の収益以外 (円)	—	
翌期繰越分配対象額 (円)	7,516	

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■ 収益分配金の計算過程 (1万口当り)

項目	当	期
(a) 経費控除後の配当等収益		0.00円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓	3,527.37
(c) 収益調整金		2,981.67
(d) 分配準備積立金		2,907.44
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)		9,416.49
(f) 分配金		1,900.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)		7,516.49

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

■ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、市場のさまざまなロボット関連産業の企業に投資を行います。「作る」では、ロボット産業におけるリーディングカンパニーに加え、製造工程を監視制御するシステムを開発する企業などに注目しています。「運ぶ」では、ビジョンシステムなど自動運転の実現を可能とするソフトウェアや半導体企業に注目しています。「助ける・守る」では、ロボット外科手術やデジタルヘルスなどを手掛ける企業などに注目しています。今回のコロナショックは経済活動や人々の生活に大きな変化をもたらしましたが、世界が直面している課題を解決するためにロボット・テクノロジーが大きく貢献することが期待されています。オンラインへの対応、物流の自動化、生産拠点の見直しなど、さまざまな分野でロボットの導入や自動化が加速していくことが想定されます。今後も、成長期待の高いロボット関連産業の企業に投資を行うことで中長期的な信託財産の成長をめざしてまいります。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2020.9.15~2021.3.15)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	111円	0.617%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は17,935円です。
(投 信 会 社)	(34)	(0.192)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(74)	(0.411)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.000	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	111	0.617	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

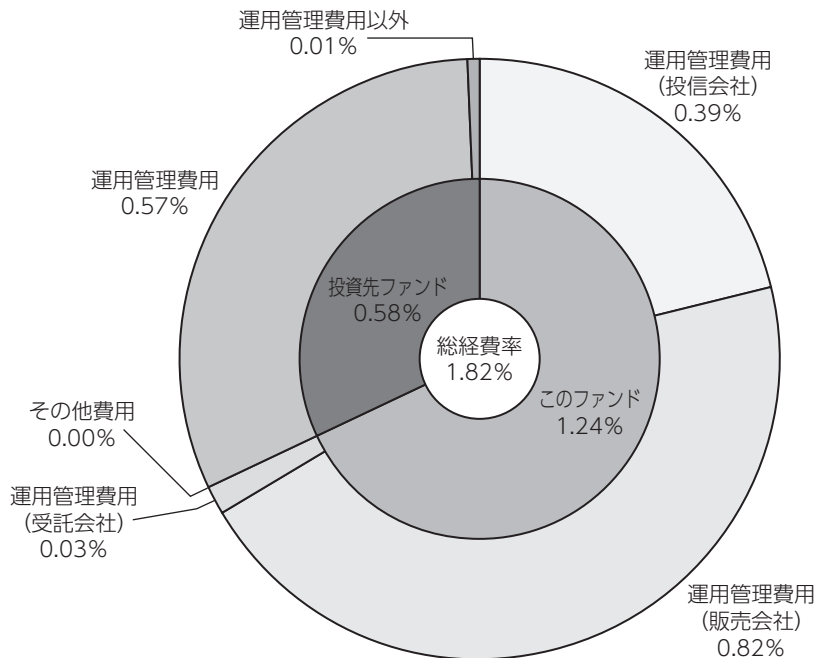
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.82%です。



総経費率 (①+②+③)	1.82%
①このファンドの費用の比率	1.24%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.57%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2020年9月15日から2021年3月15日まで)

国	買付	売付		
		□ 数	金 額	
内	千口	千円	千口	千円
	2,497,671.683	4,900,000	20,645,028.267	47,050,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
国内投資信託受益証券 アクサIM・グローバル・ロボット関連株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	千口	千円	%
	89,727,205.568	217,382,100	99.5

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	当 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口	千口	千円
	947	947	948

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年3月15日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円	%
	217,382,100	89.0
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	948	0.0
コール・ローン等、その他	26,977,875	11.0
投資信託財産総額	244,360,924	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年3月15日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	244,360,924,896円
コール・ローン等	22,277,875,752
投資信託受益証券(評価額)	217,382,100,929
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	948,215
未収入金	4,700,000,000
(B) 負債	25,849,288,723
未払収益分配金	23,701,840,099
未払解約金	708,089,425
未払信託報酬	1,438,266,981
その他未払費用	1,092,218
(C) 純資産総額(A - B)	218,511,636,173
元本	124,746,526,840
次期繰越損益金	93,765,109,333
(D) 受益権総口数	124,746,526,840口
1万口当り基準価額(C / D)	17,516円

* 期首における元本額は134,986,067,600円、当作成期間中における追加設定元本額は17,549,575,679円、同解約元本額は27,789,116,439円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は17,516円です。

■損益の状況

当期 自2020年9月15日 至2021年3月15日

項 目	当	期
(A) 配当等収益	△	526,078円
受取利息		75,539
支払利息	△	601,617
(B) 有価証券売買損益		45,442,701,724
売買益		51,185,307,313
売買損	△	5,742,605,589
(C) 信託報酬等	△	1,439,359,199
(D) 当期損益金(A + B + C)		44,002,816,447
(E) 前期繰越損益金		36,268,810,239
(F) 追加信託差損益金		37,195,322,746
(配当等相当額)	(23,150,652,025)
(売買損益相当額)	(14,044,670,721)
(G) 合計(D + E + F)		117,466,949,432
(H) 収益分配金	△	23,701,840,099
次期繰越損益金(G + H)		93,765,109,333
追加信託差損益金		37,195,322,746
(配当等相当額)	(23,150,652,025)
(売買損益相当額)	(14,044,670,721)
分配準備積立金		56,570,312,767
繰越損益金	△	526,180

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	44,002,782,189
(c) 収益調整金	37,195,322,746
(d) 分配準備積立金	36,269,370,677
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	117,467,475,612
(f) 分配金	23,701,840,099
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	93,765,635,513
(h) 受益権総口数	124,746,526,840口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	1,900円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

<補足情報>

当ファンド（ロボット・テクノロジー関連株ファンド（ロボテック））が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2020年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2021年3月15日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄

2020年9月15日～2021年3月15日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2021年3月15日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第11期 (決算日 2020年12月9日)

(作成対象期間 2019年12月10日～2020年12月9日)

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

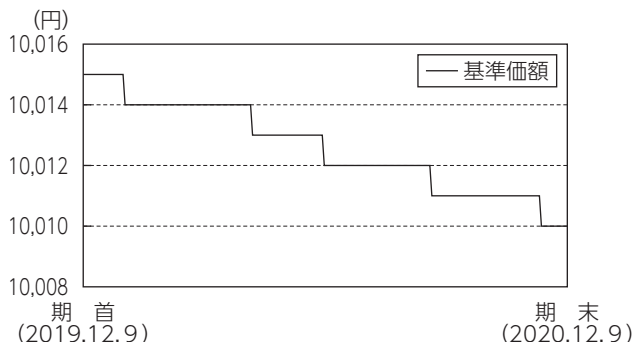
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額		公社債 組入比率
	円	騰落率	
(期首)2019年12月9日	10,015	-	-
12月末	10,015	0.0	-
2020年1月末	10,014	△0.0	-
2月末	10,014	△0.0	-
3月末	10,014	△0.0	-
4月末	10,013	△0.0	-
5月末	10,013	△0.0	-
6月末	10,012	△0.0	-
7月末	10,012	△0.0	-
8月末	10,011	△0.0	-
9月末	10,011	△0.0	-
10月末	10,011	△0.0	-
11月末	10,010	△0.0	-
(期末)2020年12月9日	10,010	△0.0	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,015円 期末：10,010円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	0 (0)
合計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2020年12月9日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
コール・ローン等、その他	千円 88,460,615	% 100.0
投資信託財産総額	88,460,615	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	88,460,615,301円
コール・ローン等	88,460,615,301
(B) 負債	50,000,000
未払解約金	50,000,000
(C) 純資産総額(A - B)	88,410,615,301
元本	88,319,921,795
次期繰越損益金	90,693,506
(D) 受益権総口数	88,319,921,795口
1万口当り基準価額(C/D)	10,010円

* 期首における元本額は103,532,314,258円、当作成期間中における追加設定元本額は103,255,612,211円、同解約元本額は118,468,004,674円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック-947,268円、ダイワ/ミレリアセット・インド株ファンド - インドの匠-29,910,270円、ワールド・フィンテック革命ファンド(為替ヘッジあり) 998円、ワールド・フィンテック革命ファンド(為替ヘッジなし) 998円、新興国ソブリン・豪ドルファンド(毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ブラジルレアルファンド(毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、US短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 102,434円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック (為替ヘッジあり) 39,849円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド(年1回決算型) - ロボテック(年1回) - (為替ヘッジあり) 3,985円、iFreeレパレッジ S & P 500 1,249,412,852円、iFreeレパレッジ N A S D A Q 100 11,006,295,149円、米国4資産リスク分散ファンド(年2回決算型) 689,912円、グリーンテック株式ファンド(資産成長型) 998,802円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック (毎月決算/予想分配金提示型) 999円、ダイワ上場投信-日経平均レパレッジ・インデックス2,927,475,552円、ダイワ上場投信-日経平均ダブルインバース・インデックス6,683,086,104円、ダイワ上場投信-TOP I Xレパレッジ(2倍) 指数1,085,050,377円、ダイワ上場投信-TOP I Xダブルインバース(-2倍) 指数1,226,094,880円、ダイワ上場投信-日経平均インバース・インデックス25,058,858,800円、ダイワ上場投信-TOP I Xインバース(-1倍) 指数11,170,317,850円、ダイワ上場投信-J P X日経400レパレッジ・インデックス387,469,071円、ダイワ上場投信-J P X日経400インバース・インデックス611,537,975円、ダイワ上場投信-J P X日経400ダブルインバース・インデックス141,884,108円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり) 2016-10 997円、先進国トータルリターン戦略ファンド(リスク抑制型/適格機関投資家専用) 6,988,339,549円、ダイワ日本株式ベア・ファンド(適格機関投資家専用) 19,374,063,390円、低リスク型アロケーションファンド(金利トレンド判断付き/適格機関投資家専用) 179,433,743円、ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - S Lトレード-5,091,608円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ149,382,442円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ5,609,419円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 豪ドル・コース(毎月分配型) 595,106円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII ブラジル・レアル・コース(毎月分配型) 987,373円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 通貨セレクト・コース(毎月分配型) 494,581円、ダイワUS短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型) 9,957円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジあり) 997円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジなし) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジなし) 997円、ダイワ/ミレリアセット・細細株株式ファンド9,958,176円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) 米ドル・コース1,989,053円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) ブラジル・レアル・コース2,978,118円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) 通貨セレクト・コース1,691,241円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド(年1回決算型) - ロボテック(年1回) -100,588円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり(毎月分配型) 399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし(毎月分配型) 99,771円、通貨選択型ダイワ先進

国リートα 円ヘッジコース(毎月分配型) 399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース(毎月分配型) 99,771円、ダイワ/ミレリアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジあり) 1,091,429円、ダイワ/ミレリアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジなし) 315,004円、ダイワ/ミレリアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 日本円・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 豪ドル・コース(毎月分配型) 99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- ブラジル・レアル・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 米ドル・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース(毎月分配型) 1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 日本円・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 豪ドル・コース200,861円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 ブラジル・レアル・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 米ドル・コース1,999,177円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース505,900円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,010円です。

■損益の状況

当期 自2019年12月10日 至2020年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 34,974,173円
受取利息	1,075,374
支払利息	△ 36,049,547
(B) その他費用	△ 1,522,123
(C) 当期損益金(A + B)	△ 36,496,296
(D) 前期繰越損益金	156,051,230
(E) 解約差損益金	△161,476,434
(F) 追加信託差損益金	132,615,006
(G) 合計(C + D + E + F)	90,693,506
次期繰越損益金(G)	90,693,506

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	約10年（2025年9月11日まで）	
運用方針	アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド（以下、「マザーファンド」）の受益証券を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券
	マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）および株式関連証券
ベビーファンドの運用方法	<ol style="list-style-type: none"> 主として、マザーファンドの受益証券に投資することにより、信託財産の成長を目指して運用を行います。 マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位に維持します。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。 	
マザーファンドの運用方法	<ol style="list-style-type: none"> 技術革新が進展することで、ロボットおよび自動システムならびにセンサーシステムが産業プロセス、交通、ヘルスケアおよびコンシューマー向けアプリケーションに、より一層統合されることを目指す分野に着目し、世界中の主としてロボット関連および自動システムに関する調査、開発、デザインおよび製作に従事する企業に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。 ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行うことを基本とします。 <ol style="list-style-type: none"> 日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式から、ロボット・テクノロジーに関連する成長テーマを特定し、金融・経済情勢などを勘案することで長期にわたり成長の可能性を有する企業群を投資対象銘柄とします。 投資対象銘柄の中から、中長期的にロボット関連事業が業績に対して大きな影響を有することが期待される企業に着目し、高度な技術力、強力な経営陣、価格決定力および業績向上修正の可能性などを考慮することで、組入候補銘柄を選定します。 選定した組入候補銘柄から、アクサ・インベストメント・マネージャーズの企業調査機能などを活用し、中長期的な業績拡大によって株価上昇が見込まれる銘柄を選択します。また、株価の上昇期待度、下落の余地やバリュエーションなどを考慮して組入比率を決定し、ポートフォリオを構築します。 株式および株式関連証券の組入比率は、原則として高位に維持します。 運用にあたっては、アクサ・インベストメント・マネージャーズUKリミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。 	
組入制限	当ファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
分配方針	<p>毎決算時に原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①分配対象額の範囲は繰越分を含めた利子、配当等収益と売買益（繰越欠損補填後、評価損益を含む）等の金額とします。 ②分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。基準価額水準、市況動向等によっては分配を行わないこともあります。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 ③留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。 	

アクサ IM・グローバル・ ロボット関連株式ファンド (為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)

追加型投信／海外／株式

運用報告書（全体版）

第10期（決算日 2021年2月15日）

受益者の皆様へ

平素は格別のお引き立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」は、このたび第10期の決算を行いました。当ファンドは、アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンドの受益証券を通じて、日本を含む世界のロボット関連株式に投資することにより、信託財産の成長を目指します。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

引き続き一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
東京都港区白金1-17-3 NBFプラチナタワー14階
<http://www.axa-im.co.jp/>

《当運用報告書の記載内容に関する問い合わせ先》
電話番号：03-5447-3160
受付時間：9：00～17：00（土日祭日を除く）

■最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 分 配 金		株 式 組 入 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落 率	中 率		
6 期末(2019年 2 月13日)	円 13,790	円 0	% △ 4.2	% 98.8	百万円 361,683
7 期末(2019年 8 月13日)	13,476	0	△ 2.3	98.5	281,035
8 期末(2020年 2 月13日)	17,339	0	28.7	98.0	261,657
9 期末(2020年 8 月13日)	19,591	0	13.0	97.0	246,840
10期末(2021年 2 月15日)	25,788	0	31.6	96.9	282,277

(注1) 基準価額および分配金は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。なお、当期は分配金はありません。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期中の基準価額の推移

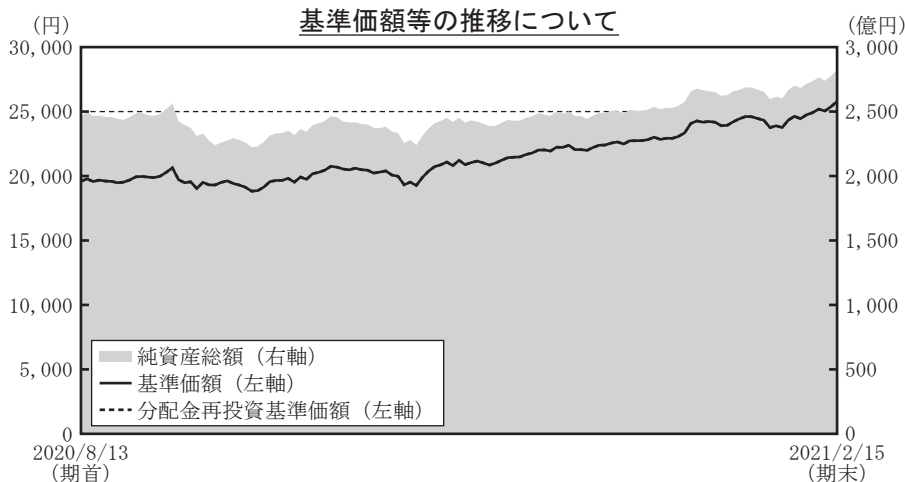
年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	
		株 式 組 入 比 率	騰 落 率
(期 首) 2020年 8 月13日	円 19,591	% 97.0	% —
8 月末	19,879	97.7	1.5
9 月末	19,655	95.5	0.3
10月末	19,523	98.0	△ 0.3
11月末	21,670	98.8	10.6
12月末	22,839	98.0	16.6
2021年 1 月末	23,896	97.8	22.0
(期 末) 2021年 2 月15日	25,788	96.9	31.6

(注1) 基準価額は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み、騰落率は期首比です。なお、当期は分配金はありません。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期の運用状況（2020年8月14日～2021年2月15日）



期 首：19,591円

期 末：25,788円（既払分配金（税込み）：0円）

騰 落 率： 31.6%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

当期は、米国を中心に保有銘柄の株価が全般的に上昇しプラス寄与となり、基準価額は上昇しました。

【投資環境について】

○グローバル株式市場

当期のグローバル株式市場は、上昇しました。期初は、企業の2020年4－6月期の業績発表が思ったほどの悪化を示さずグローバル経済が回復軌道に戻りつつあることなどから株式市場は堅調に推移しました。9月に入ると、新型コロナウイルス感染再拡大、各国における景気刺激策の縮小、米大統領選の不透明感などの懸念材料から下落に転じました。しかし11月以降は、米国大統領選挙が行われ市場の不透明感が後退したことや、新型コロナウイルス・ワクチンの臨床試験において複数の会社から高い有効性を示す結果が出されたことを好感して株価は大きく上昇しました。12月から2021年1月にかけて複数のワクチンが承認され、一部の国や地域で接種が開始されたことを受けて引き続き株価は堅調に推移しました。さらに2月には米国でバイデン大統領による追加景気対策への期待を追い風に12日の主要3株価指数は最高値を更新し、日本でもワクチン承認による「コロナ後」の景気回復への期待から15日の日経平均株価は約30年ぶりに3万円を超えました。

○為替市場

為替市場では、米ドル・円レートは期初の106円台から期末には105円台となり、ユーロ・円レートは期初の126円台から期末には127円台となりました。

当期は、新型コロナウイルスの感染再拡大を受けて、米ドルは大規模な追加景気対策や新型コロナウイルス・ワクチン接種開始への期待を背景にリスク選好の流れからドルが売られ円高が進行し、ユーロはEUの復興基金創設や欧州共同債発行に対する期待などによりユーロ高が進行しました。

【ポートフォリオについて】

○当ファンド

主要投資対象である「アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れました。

○アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド

当ファンドは「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、市場の様々なロボット関連産業の企業に投資を行い、信託財産の成長を目指しました。具体的には、ロボット関連産業、製造業・運輸・ヘルスケアなどの分野で自動化を行う企業、これらの企業の技術を下支えする半導体企業やソフトウェア企業などの銘柄を組み入れました。企業規模の面ではアマゾン・ドット・コムやキーエンスのような大型株からニューベイシブやシリコン・ラボラトリーズなどの中小型株にも幅広く投資しています。地域別ではロボット関連産業の技術革新において先進的な地域である米国、日本を中心に投資をしています。

期中は、英国の産業向けプロセス・オートメーション・ソフトウェアを開発するアヴィバ・グループを新規で組み入れました。また、新型コロナウイルスによってデジタル化や非接触化などのニーズが高まり、ロボット技術の導入や自動化が今後加速していくというシナリオが考えられることから日本の主要ロボットメーカー、ファナックや安川電機の組み入れを増やしました。一方、パフォーマンスが非常に堅調だった米国の大手テクノロジー企業アマゾン・ドット・コム、アップルや日本の自動化機器部品の専門商社ミスミグループ本社を一部売却し利益を確定しました。

【当ファンドのベンチマークの差異】

当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ファンダメンタル・リサーチに基づくボトムアップの銘柄選定にフォーカスした運用を行います。従って、運用目標となるベンチマークを設けておりません。

【分配金】

当期は、基準価額の水準等を勘案し、収益の分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用いたします。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

		第10期
		2020年8月14日～2021年2月15日
当期分配金		—
	(対基準価額比率)	—%
	当期の収益	—
	当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額		15,787

(注1) 「当期の収益」は「費用控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備設立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

(注2) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」および「当期の収益以外」の算出に当たっては、1万口当たりで小数点以下を四捨五入して表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

○当ファンド

主要投資対象である「アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れる方針です。

○アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド

当ファンドは「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、市場の様々なロボット関連産業の企業に投資を行います。

「作る」では、ロボット産業におけるリーディング・カンパニーに加え、製造工程を監視制御するシステムを開発する企業などに、「運ぶ」では、自動運転技術を可能とするソフトウェアや半導体企業などに、「助ける・守る」では、ロボット外科手術などを手掛ける企業などに注目しています。

コロナショックは経済活動や人々の生活に大きな変化をもたらしました。オンラインへの対応、物流の自動化、生産拠点の見直しなど世界が直面している課題を解決するためにロボット・テクノロジーが大きく貢献することが期待されており、様々な分野でロボットの導入や自動化が今後加速していくと考えられます。今後も、将来的な成長期待の高いロボット関連産業の企業に投資を行うことで中長期的な信託財産の成長を目指します。

■1万口当たりの費用明細（2020年8月14日～2021年2月15日）

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	63円	0.294%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は21,478円です。
（投信会社）	(60)	(0.280)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(1)	(0.003)	販売会社分は、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.011)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	5	0.024	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式会社）	(5)	(0.024)	
その他費用	1	0.006	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(1)	(0.006)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	70	0.325	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買及び取引の状況（2020年8月14日～2021年2月15日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド	2,958,649	5,000,000	23,275,836	39,980,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買比率（2020年8月14日～2021年2月15日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	108,173,643千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	255,583,924千円
(c) 売 買 高 比 率(a)/(b)	0.42

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2020年8月14日～2021年2月15日）

期中の利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況（2020年8月14日～2021年2月15日）

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細（2021年2月15日現在）

親投資信託残高

種 類	期 首（前期末）	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド	151,186,670	130,869,483	281,971,389

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2021年2月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンド	281,971,389	99.6
コール・ローン等、その他	1,032,651	0.4
投資信託財産総額	283,004,041	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建て資産（255,288,611千円）の投資信託財産総額（302,432,893千円）に対する比率は、84.4%です。

(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1米ドル=105.12円、1台湾ドル=3.75円、1英ポンド=145.85円、1ユーロ=127.44円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年2月15日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	283,004,041,325円
コール・ローン等	1,032,651,842
アクサ IM・グローバル・ ロボット関連株式マザーファンド(評価額)	281,971,389,483
(B) 負 債	726,408,021
未払信託報酬	725,802,777
その他未払費用	605,244
(C) 純資産総額(A-B)	282,277,633,304
元 本	109,461,932,770
次期繰越損益金	172,815,700,534
(D) 受益権総口数	109,461,932,770口
1万口当り基準価額(C/D)	25,788円

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. 期首元本額 | 125,997,971,048円 |
| 期中追加設定元本額 | 4,939,765,539円 |
| 期中一部解約元本額 | 21,475,803,817円 |
| 2. 1口当たり純資産額 | 2,5788円 |

■損益の状況

当期(自 2020年8月14日 至 2021年2月15日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 253,240円
受 取 利 息	20,678
支 払 利 息	△ 273,918
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	67,906,963,698
売 買 益	70,677,883,946
売 買 損	△ 2,770,920,248
(C) 信 託 報 酬 等	△ 726,420,602
(D) 当期損益金(A+B+C)	67,180,289,856
(E) 前期繰越損益金	78,052,671,162
(F) 追加信託差損益金	27,582,739,516
(配当等相当額)	(26,477,569,126)
(売買損益相当額)	(1,105,170,390)
(G) 計 (D+E+F)	172,815,700,534
次期繰越損益金(G)	172,815,700,534
追加信託差損益金	27,582,739,516
(配当等相当額)	(26,483,181,545)
(売買損益相当額)	(1,099,557,971)
分配準備積立金	145,232,961,018

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益（599,453,177円）、費用控除後の有価証券等損益額（66,580,836,679円）、信託約款に規定する収益調整金（27,582,739,516円）および分配準備積立金（78,052,671,162円）より分配対象収益は172,815,700,534円（10,000口当たり15,787.74円）ですが、当期に分配した金額はありません。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）および株式関連証券
運用方法	<ol style="list-style-type: none"> 技術革新が進展することで、ロボットおよび自動システムならびにセンサーシステムが産業プロセス、交通、ヘルスケアおよび消費者向けアプリケーションに、より一層統合されることを目指す分野に着目し、世界中の主としてロボット関連および自動システムに関する調査、開発、デザインおよび製作に従事する企業に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。 ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行うことを基本とします。 <ol style="list-style-type: none"> 日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式から、ロボット・テクノロジーに関連する成長テーマを特定し、金融・経済情勢などを勘案することで長期にわたり成長の可能性を有する企業群を投資対象銘柄とします。 投資対象銘柄の中から、中長期的にロボット関連事業が業績に対して大きな影響を有することが期待される企業に着目し、高度な技術力、強力な経営陣、価格決定力および業績上方修正の可能性などを考慮することで、組入候補銘柄を選定します。 選定した組入候補銘柄から、アクサ・インベストメント・マネージャーズの企業調査機能などを活用し、中長期的な業績拡大によって株価上昇が見込まれる銘柄を選択します。また、株価の上昇期待度、下落の余地やバリュエーションなどを考慮して組入比率を決定し、ポートフォリオを構築します。 株式および株式関連証券の組入比率は、原則として高位に維持します。 運用にあたっては、アクサ・インベストメント・マネージャーズUKリミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。
株式組入制限	無制限

アクサ IM・グローバル・ ロボット関連株式マザーファンド

運用報告書

第5期（決算日：2020年8月13日）

（計算期間 2019年8月14日～2020年8月13日）

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		株組入比率	純資産額
		騰	落		
(設定日) 2015年12月8日	円 10,000	% —	% —	% —	百万円 95
1期末(2016年8月15日)	7,435	△25.7	96.8	108,241	
2期末(2017年8月14日)	10,127	36.2	95.8	234,330	
3期末(2018年8月13日)	11,852	17.0	98.6	436,627	
4期末(2019年8月13日)	11,155	△5.9	98.6	298,397	
5期末(2020年8月13日)	16,315	46.3	97.0	262,542	

(注1) 基準価額は1万円当たり。

(注2) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

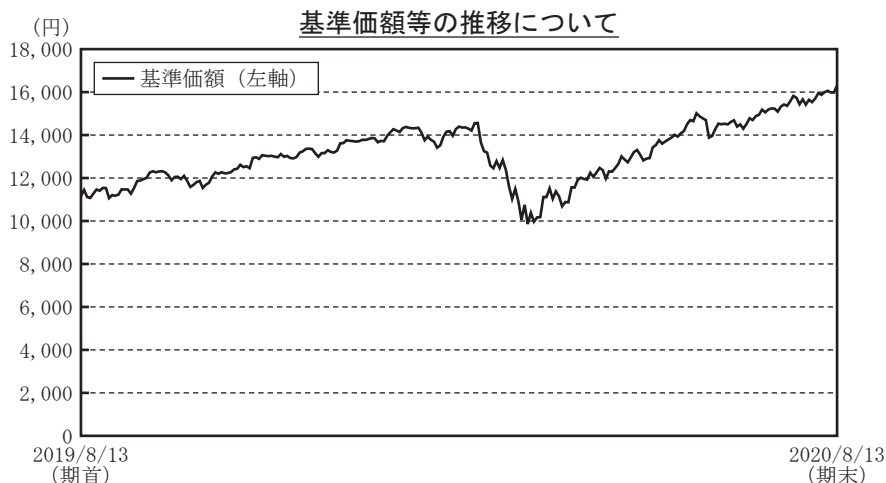
■当期中の基準価額の推移

年月日	基準価額	騰落率		株組入比率
		騰	落	
(期首) 2019年8月13日	円 11,155	% —	% 98.6	
8月末	11,469	2.8	97.7	
9月末	11,950	7.1	97.9	
10月末	12,547	12.5	97.9	
11月末	13,369	19.8	97.2	
12月末	13,850	24.2	95.2	
2020年1月末	13,692	22.7	97.8	
2月末	12,586	12.8	97.7	
3月末	11,377	2.0	96.4	
4月末	13,007	16.6	96.3	
5月末	13,929	24.9	97.8	
6月末	14,513	30.1	98.5	
7月末	15,533	39.2	97.9	
(期末) 2020年8月13日	16,315	46.3	97.0	

(注1) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期の運用状況 (2019年8月14日～2020年8月13日)



【基準価額の主な変動要因】

当期は、米国をはじめ欧州や日本の保有銘柄の株価が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は値上がりしました。

【投資環境について】

○グローバル株式市場

当期のグローバル株式市場は、上昇しました。期初は、米国が2019年8月に中国製品3,000億ドル相当の輸入品に関して10%の関税を9月1日から実施すると表明したことにより貿易摩擦が激化し、株式市場は下落しました。しかしその後、企業の決算発表が予想を上回る結果となったことや、米連邦準備理事会（FRB）が利下げを行ったこと、米中が貿易交渉の第1段階で合意したこと等により、グローバル株式市場は大きく上昇しました。2020年1月の下旬より新型コロナウイルスによる肺炎の感染が拡大すると、その経済への影響が懸念されグローバル株式市場は下落しましたが、期を通じては上昇となりました。4月に入ると一部の国や地域で都市封鎖の解除に向けた動きが出てくる中で投資家のリスク回避姿勢が後退し、グローバル株式市場は一転して大きく反発しました。また、欧州や米国で徐々に経済活動再開に向けて動き出し、新型コロナウイルスのワクチン開発にも進展が見られたことが投資家心理を改善させました。6月も引き続きグローバル株式市場は上昇し、その後企業の4～6月期業績発表が思ったほどの悪化を示さず、年後半に回復の見通しを示した企業もあったことから、堅調なパフォーマンスとなりました。

○為替市場

為替市場では、米ドル・円レートは期初の105円台から期末には106円台、ユーロ・円レートは期初の118円台から期末には126円台となりました。

期初は、米中関係の悪化を受け、リスク回避姿勢が高まったことにより、安全資産と考えられている円に対する需要が強まり、米ドルとユーロに対して円高となりました。その後、好調な米国経済や米中貿易摩擦懸念の緩和等により円安が進みましたが、2020年に入り新型コロナウイルスの影響により再びリスク回避姿勢が高

まり円高となりました。期末にかけて米ドルは経済活動再開による景気回復期待や金利の上昇を受けたことにより、ユーロはEUの復興基金創設に対する期待などによりリスク回避姿勢が後退し円安が進行しました。期を通じては、円はドルとユーロに対して円安となりました。

【ポートフォリオについて】

当ファンドは「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、市場の様々なロボット関連産業の企業に投資を行い、信託財産の成長を目指しました。具体的には、ロボット関連産業、製造業・運輸・ヘルスケアなどの分野で自動化を行う企業、これらの企業の技術を下支えする半導体企業やソフトウェア企業などの銘柄を組み入れました。企業規模の面ではキーエンスやインテュイティブサージカルのような大型株からテラデザインやPTCなどの中小型株にも幅広く投資しています。地域別ではロボット関連産業の技術革新において先進的な地域である米国、日本を中心に投資をしています。

期中は、ドイツのソフトウェア企業TeamViewer、米国のヘルスケア企業バリアンメディカルシステムズを新規で組み入れました。また、新型コロナウイルスの感染が世界的に急速に広がる中、アマゾン・ドット・コム等オンライン消費の増加に恩恵を受けると見られる企業への組入れを増やしました。一方、米国半導体のアナログ・デバイスやザイリンクスについては全額売却しました。その後、経済活動が再開し回復へ向けて動き出したことから、日本のファナック、ドイツのシーメンス、フランスのシュナイダーエレクトリックなどの資本財・サービス・セクターの銘柄の買い増しを行いました。

【当ファンドのベンチマークとの差異】

当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ファンダメンタル・リサーチに基づくボトムアップの銘柄選定にフォーカスした運用を行います。従って、運用目標となるベンチマークを設けておりません。

【今後の運用方針】

当ファンドは「作る」、「運ぶ」、「助ける・守る」の3つのテーマに着目し、市場の様々なロボット関連産業の企業に投資を行います。

「作る」では、ロボット産業におけるリーディング・カンパニーに加え、製造工程を監視制御するシステムを開発する企業などに注目しています。「運ぶ」では、自動運転技術を可能とするソフトウェアや半導体企業に注目しています。「助ける・守る」では、ロボット外科手術などを手掛ける企業などに注目しています。

コロナショックは経済活動や人々の生活に大きな変化をもたらしました。オンラインへの対応、物流の自動化、生産拠点の見直しなど世界が直面している課題を解決するためにロボット・テクノロジーが大きく貢献することが期待されており、様々な分野でロボットの導入や自動化が今後加速していくと考えられます。今後も、将来的な成長期待の高いロボット関連産業の企業に投資を行うことで中長期的な信託財産の成長を目指します。

■ 1万口当たりの費用明細 (2019年8月14日～2020年8月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	6円 (6)	0.042% (0.042)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
そ の 他 費 用 (そ の 他)	2 (2)	0.016 (0.016)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
合 計	8	0.058	

(注1) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。期中の平均基準価額は13,159円です。

(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況 (2019年8月14日～2020年8月13日)

株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	日 本	千株 497 (397)	千円 2,767,767	千株 3,175	千円 27,065,389
	外 国				
外 国	ア メ リ カ	百株 44,965	千米ドル 338,754 (△454)	百株 166,548	千米ドル 1,330,347
	台 湾	—	千台湾ドル —	34,100	千台湾ドル 1,098,650
	イ ギ リ ス	3,667	千英ポンド 6,052	9,518	千英ポンド 14,248
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	オ ラ ン ダ	92 (141)	414	6,420	27,014
	フ ラ ン ス	1,752	14,708	2,334	21,652
	ド イ ツ	18,209	62,603	29,263	131,915
そ の 他	50,572	21,358	25,620	11,361	

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) () 内は増資割当、株式転換・合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合 (2019年8月14日～2020年8月13日)

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	252,813,346千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	265,735,580千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	0.95

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄 (2019年8月14日～2020年8月13日)

買		付		売		付	
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
TEAMVIEWER AG	1,445	4,617,947	3,194	TERADYNE INC	885	6,321,647	7,140
ZIMMER BIOMET HOLDINGS INC	226	3,446,401	15,192	ALPHABET INC-CL C	39	5,904,924	149,472
CONMED CORP	326	3,012,286	9,213	AMAZON.COM INC.	24	5,852,576	234,892
VARIAN MEDICAL SYSTEMS INC	215	2,966,729	13,746	QUALCOMM INC	612	5,680,550	9,275
CREE INC	531	2,792,951	5,251	APPLE INC.	161	5,663,529	35,032
AXONICS MODULATION TECHNOLOG	692	2,586,391	3,734	DEXCOM INC	216	5,532,435	25,502
MAREL HF	5,057	2,577,264	509	キーエンス	119	5,343,047	44,562
GLOBUS MEDICAL INC-A	400	2,386,011	5,957	TE CONNECTIVITY LTD	523	5,278,953	10,088
NUVASIVE INC	290	2,119,640	7,305	WRIGHT MEDICAL GROUP NV	1,518	4,789,361	3,154
SCHNEIDER ELECTRIC SE	175	1,743,323	9,945	INTUITIVE SURGICAL INC	75	4,766,196	63,116

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等 (2019年8月14日～2020年8月13日)

期中の利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況 (2019年8月14日～2020年8月13日)

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細 (2020年8月13日現在)

(1) 国内株式

銘柄	前期末 株数	当期末	
		株数	金額
	千株	千株	千円
機械 (29.5%)			
ナブテスコ	1,170	739	2,505,549
SMC	147	67	4,026,624
ダイフク	772	507	4,994,935
電気機器 (63.4%)			
安川電機	1,276	1,004	3,881,233
日本電産	368	409	3,723,993
オムロン	873	489	3,900,518
キーエンス	166	201	9,275,286
ファナック	359	203	3,952,152
卸売業 (7.1%)			
ミスミグループ本社	1,765	998	2,764,846
合計	株数・金額	6,900	4,620
	銘柄数<比率>	9	9
			<14.9%>

(注1) 銘柄欄の()内は国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注2) 合計欄の< >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 単位未満は切捨て。

(2) 外国株式

銘柄	前期末	当	期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価	額	
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
NXP SEMICONDUCTORS NV	3,681	2,496	31,180	3,327,314	半導体・半導体製造装置
WRIGHT MEDICAL GROUP NV	15,183	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
ABIOMED INC	756	898	27,174	2,899,771	ヘルスケア機器・サービス
ACCELERATE DIAGNOSTICS INC	9,402	8,161	11,980	1,278,490	ヘルスケア機器・サービス
ADVANCED MICRO DEVICES	8,323	5,069	41,881	4,469,178	半導体・半導体製造装置
APTIV PLC	4,121	3,258	29,164	3,112,121	自動車・自動車部品
TE CONNECTIVITY LTD	5,232	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ALPHABET INC-CL C	878	502	75,642	8,071,850	メディア・娯楽
AMAZON.COM INC.	483	252	79,713	8,506,253	小売
ANALOG DEVICES	2,786	—	—	—	半導体・半導体製造装置
ANSYS INC	2,736	1,670	51,530	5,498,825	ソフトウェア・サービス
APPLE INC.	2,992	1,376	62,206	6,638,015	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ASPEN TECHNOLOGY INC	3,126	2,708	26,468	2,824,439	ソフトウェア・サービス
AUTODESK INC	4,224	2,836	65,685	7,009,277	ソフトウェア・サービス
AXONICS MODULATION TECHNOLOG	—	5,925	25,490	2,720,110	ヘルスケア機器・サービス
BECTON DICKINSON & CO	1,646	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
BLACKBERRY LTD	30,216	—	—	—	ソフトウェア・サービス
CADENCE DESIGN SYS INC	9,989	5,115	54,880	5,856,272	ソフトウェア・サービス
CISCO SYSTEMS	10,509	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
COGNEX CORP	12,478	7,156	47,719	5,092,145	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
CONMED CORP	—	2,778	23,890	2,549,314	ヘルスケア機器・サービス
CREE INC	—	3,303	24,108	2,572,600	半導体・半導体製造装置
DEXCOM INC	3,887	1,724	73,778	7,872,949	ヘルスケア機器・サービス
GLOBUS MEDICAL INC-A	5,210	6,192	33,497	3,574,489	ヘルスケア機器・サービス
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	3,344	2,144	34,330	3,663,411	資本財
IPG PHOTONICS CORP	2,715	2,480	39,880	4,255,627	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ILLUMINA INC	1,589	979	33,696	3,595,750	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
INTUITIVE SURGICAL INC	1,709	1,172	80,077	8,545,045	ヘルスケア機器・サービス
LUMENTUM HOLDINGS INC	6,653	1,872	17,408	1,857,655	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
MICROCHIP TECHNOLOGY INC	5,212	3,313	33,828	3,609,865	半導体・半導体製造装置
NOVANTA INC	3,815	2,280	26,122	2,787,503	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
NVIDIA CORP	1,945	1,339	61,295	6,540,841	半導体・半導体製造装置
NUVASIVE INC	4,541	5,037	26,167	2,792,353	ヘルスケア機器・サービス
PTC INC	10,877	6,491	55,773	5,951,554	ソフトウェア・サービス
PARKER HANNIFIN CORP	1,662	—	—	—	資本財
QUALCOMM INC	11,862	6,701	77,598	8,280,488	半導体・半導体製造装置
SILICON LABORATORIES INC	5,568	4,525	46,663	4,979,479	半導体・半導体製造装置
TERADYNE INC	15,115	7,115	63,785	6,806,601	半導体・半導体製造装置
TEXAS INSTRUMENTS INC	5,328	3,112	43,151	4,604,703	半導体・半導体製造装置
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	2,853	1,560	64,957	6,931,568	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
TRIMBLE INC	16,110	9,759	48,317	5,155,944	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
VARIAN MEDICAL SYSTEMS INC	—	163	2,839	302,955	ヘルスケア機器・サービス
XILINX INC	3,519	—	—	—	半導体・半導体製造装置

銘柄		前期末	当 期 末		業 種 等	
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額		邦貨換算金額
(アメリカ)		百株	百株	千米ドル	千円	
ZIMMER BIOMET HOLDINGS INC		—	1,837	25,459	2,716,798	ヘルスケア機器・サービス
AMBARELLA INC		6,391	3,786	17,579	1,875,860	半導体・半導体製造装置
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	248,685 40	127,102 37	1,584,925 —	169,127,432 <64.4%>	
(台湾)				千台湾ドル		
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING		77,650	43,550	1,824,745	6,605,576	半導体・半導体製造装置
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	77,650 1	43,550 1	1,824,745 —	6,605,576 <2.5%>	
(イギリス)				千英ポンド		
OCADO GROUP PLC		22,044	16,193	37,244	5,191,179	小売
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	22,044 1	16,193 1	37,244 —	5,191,179 <2.0%>	
(オランダ)				千ユーロ		
KONINKLIJKE PHILIPS NV		12,670	6,482	29,415	3,706,373	ヘルスケア機器・サービス
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	12,670 1	6,482 1	29,415 —	3,706,373 <1.4%>	
(フランス)				千ユーロ		
SCHNEIDER ELECTRIC SE		4,506	3,925	41,177	5,188,318	資本財
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	4,506 1	3,925 1	41,177 —	5,188,318 <2.0%>	
(ドイツ)				千ユーロ		
CONTINENTAL AG		1,778	—	—	—	自動車・自動車部品
DUERR AG		8,382	4,941	13,579	1,710,977	資本財
SIEMENS AG		6,010	3,810	45,104	5,683,159	資本財
INFINEON TECHNOLOGIES AG		27,107	15,927	35,749	4,504,445	半導体・半導体製造装置
KION GROUP AG		7,913	6,020	41,719	5,256,665	資本財
TEAMVIEWER AG		—	9,439	40,930	5,157,193	ソフトウェア・サービス
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	51,192 5	40,138 5	177,082 —	22,312,441 <8.5%>	
(その他)				千ユーロ		
MAREL HF		41,005	65,956	28,691	3,615,098	資本財
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	41,005 1	65,956 1	28,691 —	3,615,098 <1.4%>	
ユーロ計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	109,374 8	116,504 8	276,366 —	34,822,230 <13.3%>	
合 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	457,754 50	303,349 47	— —	215,746,420 <82.2%>	

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 小計欄の< >内は純資産総額に対する各通貨別評価額の比率。

(注3) 合計欄の< >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注4) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2020年8月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円 254,771,557	% 96.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	9,943,157	3.8
投 資 信 託 財 産 総 額	264,714,714	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 期末における外貨建て資産(222,838,433千円)の投資信託財産総額(264,714,714千円)に対する比率は、84.2%です。

(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1米ドル=106.71円、1台湾ドル=3.62円、1英ポンド=139.38円、1ユーロ=126.00円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年8月13日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	268,016,181,157円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	4,644,992,518
株 式(評価額)	254,771,557,173
未 収 入 金	8,525,385,937
未 収 配 当 金	74,245,529
(B) 負 債	5,473,852,821
未 払 金	3,901,852,821
未 払 解 約 金	1,572,000,000
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	262,542,328,336
元 本	160,917,472,225
次 期 繰 越 損 益 金	101,624,856,111
(D) 受 益 権 総 口 数	160,917,472,225口
1万口当り基準価額(C/D)	16,315円

- 期首元本額 267,501,155,254円
期中追加設定元本額 2,311,831,228円
期中一部解約元本額 108,895,514,257円
- 1口当たりの純資産額 1,6315円
- 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額
アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用) 151,186,670,336円
アクサ IM・グローバル・ロボット関連株式ファンド(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用) 9,730,801,889円
期末元本合計 160,917,472,225円

■損益の状況

(2019年8月14日~2020年8月13日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	1,888,862,795円
受 取 配 当 金	1,856,305,595
受 取 利 息	34,138,308
そ の 他 収 益 金	600,000
支 払 利 息	△ 2,181,108
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	108,982,117,131
売 買 益	114,834,801,912
売 買 損	△ 5,852,684,781
(C) 信 託 報 酬 等	△ 43,802,052
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	110,827,177,874
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	30,895,995,208
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 40,296,485,743
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	198,168,772
(H) 計 (D+E+F+G)	101,624,856,111
次 期 繰 越 損 益 金(H)	101,624,856,111

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。